

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2026年度)

専門分野区分	情報処理基礎	科目名	ITリテラシー I					科目コード	T1066A1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	4 単位	
担当教員名	覺野 一与	履修グループ	1E(IS)					授業方法	演習	
実務経験の内容	<p>大阪府、兵庫県の工業高校で教諭として28年間勤務し、建築およびデザインに関する教育に従事した。座学として情報技術基礎、実習としてOffice、2D-CAD、3D-CADを担当した。その後、求職者支援訓練や大学、専門学校にて、ICTリテラシーやビジネスソフトの実習を含む情報教育に従事している。これら実務経験をもとに、ITに必要な知識を分かり易く伝えられるように授業展開を行う。</p>									
学習一般目標	<p>留学生在が日本での生活や学習、将来のキャリアにおいて必要となるITリテラシーの基礎を習得することを目的とする。また、ITの専門用語を含めた中上級レベルの日本語能力の習得を目指す。具体的には、ITの基本概念を理解し、日本のIT環境や関連法規に関する知識を身につける。さらに、情報セキュリティや個人情報保護の重要性を理解し、安全なITの活用方法を学ぶ。</p>									
授業の概要および学習上の助言	<p>本授業では、留学生在が日本での学習や就職活動、日常生活において必要となるITリテラシーの基礎を習得することを目的とする。特に、日本のIT環境や関連法規に関する知識を学ぶとともに、情報セキュリティや個人情報保護の重要性を理解し、安全にITを活用する能力を養う。ITに関する専門用語が多く出てくるため、授業中だけでなく日常的にIT関連の日本語に触れることを意識すること、特に基本的なIT用語は実際に使いながら覚えることが重要です。分からないことがあれば積極的に質問し、クラスメートや講師と意見交換をすることで理解を深めることができます。ITリテラシーは日々進化する分野であるため、学び続ける姿勢を大切にしましょう。</p>									
教科書および参考書	留学生在のためのITリテラシー									
履修に必要な予備知識や技能	特になし									
使用機器	一部授業において、各自の個人所有パソコンを使用する。									
使用ソフト	一部授業において、Officeを使用する。									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2	コンピュータの基本的な概念・用語を理解し、日本語で説明できる。								
	1/2	ネットワーク・セキュリティの基本的な概念・用語を理解し、日本語で説明できる。								
	1/2	マネジメント・ストラテジの基本的な概念・用語を理解し、日本語で説明できる。								
	3	講義に意欲を持って取り組むことができる。								
	3/5	基礎的な知識を修得することから、より高度な知識への興味、関心を喚起できる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	20	10	10					40
		2.思考・判断	20	10						30
		3.態度							10	10
		4.技能・表現				10				10
		5.関心・意欲							10	10
	総合評価割合		40	20	10	10			20	100

評価の要点	
評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	前期授業で学んだ知識の理解度を前期定期試験期間中に実施される試験を通じて評価する。
小テスト	各単元で学んだ知識の理解度を単元終了後に実施する小テストを通じて評価する。
レポート	授業で学んだ内容の定着や理解度を深めながら自主的に学べる力を課題解決型授業1及び2を通じて評価する。
成果発表(口頭・実技)	授業で学んだ内容の定着や理解度を深めながら自主的に調査したものを発表を通じて評価する。
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業で出題される課題への取り組み状況や授業への出席、授業参加態度などを含め総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	コンピュータの種類 コンピュータの種類の基本構成 理解度チェック	講義・演習	テキスト P12～P19
第2回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) プロセッサとメモリ ソフトウェアの利用 理解度チェック	講義・演習	テキスト P20～P27
第3回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) ネットワークの基本構成 理解度チェック	講義・演習	テキスト P36～P39
第4回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) インターネット技術 理解度チェック	講義・演習	テキスト P40～P43
第5回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) 情報セキュリティの概要 情報セキュリティ対策 理解度チェック	講義・演習	テキスト P44～P51
第6回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) 暗号技術 認証技術 理解度チェック	講義・演習	テキスト P52～59
第7回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) プロジェクトマネジメント 理解度チェック	講義・演習	テキスト P88～P91
第8回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) サービスマネジメント 理解度チェック	講義・演習	テキスト P92～95
第9回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) システム監査 企業活動と組織形態 理解度チェック	講義・演習	テキスト P96～P103

第10回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) 業務把握と業務改善 企業会計 理解度チェック	講義・演習	テキスト P104~P111
第11回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) 企業法務 経営戦略マネジメント 理解度チェック	講義・演習	テキスト P112~P119
第12回	前回の勉強した内容を発表(発表者はその時に発表) 技術戦略マネジメント 情報システム戦略 システム企画 理解度チェック	講義・演習	テキスト P120~P131
第13回	総まとめ	講義・演習	
第14回	課題解決型授業1	遠隔授業 実施時期:1期	別途提示
第15回	課題解決型授業2	遠隔授業 実施時期:3期	別途提示